

のがみ公民館たより

発行：2025（令和）7年7月、野上公民館

【アンコンシャスバイアス】

近年、ビジネス雑誌や新聞・テレビでも取り上げられるようになってきたアンコンシャスバイアス (unconscious bias)。なぜ、今、注目されているのでしょうか。その最大の理由は、多様性が重要になってきているからです。

◆アンコンシャスバイアスとは何か？

私たちは、何かを見たり、聞いたり、感じたりしたときに、「無意識に“こうだ”と思い込むこと」があります。これを、アンコンシャスバイアスといいます。「無意識の偏見」「無意識の思い込み」などとも表現されています。

◆アンコンシャスバイアスは日常にあふれていて、誰にでもある

例えば、次のようなことを思うことはありませんか？

- 「血液型」を聞くと、“きっとこんな性格だ”と思う
- 「親が単身赴任中」ときくと、父親を思い浮かべる
- 「男らしく」「女らしく」と思うことがある
- 「普通は〇〇だ」「たいてい〇〇だ」と思うことがある
- 評判や噂で、相手をみることがある
- 挑戦する前に、「私には、きっと無理」と、思うことがある



「私は、どれもあてはまらなかった」という方や、「思ったことはない」という方もいたかもしれませんが、ここに記載していることは、アンコンシャスバイアスとなりうるごく一部の例です。私たちは、「過去の経験」や「見聞きしたこと」に影響をうけて、無意識のうちに（知らず知らずのうちに）、“きっと、こうだ”と思い込んでいることや、偏ったモノの見方をしていることがあるかもしれません。

◆アンコンシャスバイアスの何が問題となるのか？

日常にあふれていて、誰にでもあるアンコンシャスバイアス。気づかずにいると、それによる「判断」や「言動」が、ときに、相手を傷つけてしまったり、自分自身の可能性をせばめてしまったりといったように、ネガティブな影響をおよぼすことがあるため注意が必要です。

◆ひとりひとりがイキイキと活躍するために

“わたし”も含めたひとりがイキイキとする社会をめざして、「これって、私のアンコンシャスバイアス？」まずは自分自身の「無意識の思い込み」に気づくことが大切なのは。

4月より公民館に配置された井上と申します。初めてのたよりの発行です。

「アンコンシャスバイアス」最近よく耳にする「多様性」。100 人いれば 100 人それぞれが受け取る意味が変わるとか。「あなたは真面目」誉め言葉？無意識なのでやっかいだなと考えさせられることばでした。あいさつが遅れてすみません。よろしくお願いいたします。

☆7月20日は、第27回参議院議員通常選挙です。☆